コロナ禍に負けず、宿泊需要喚起へ攻勢

関西支部連合会

質の高いサービス提供

田岡茂会長

平素より、関西支部連合会会員の皆さまには、格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は誰もが予想しなかった急激な新型コロナウイルスの感染拡大に、翻弄（ほんろう）された1年でありました。春と年初の2度にわたる緊急事態宣言。これにより人と人が強く結び付くことでもたらされる感動体験を提供する観光・宿泊業は大きな打撃を受けました。一時はGo Toトラベルキャンペーンにより持ち直しを見せたものの、さも感染拡大の原因が旅行であるかのような報道により昨年末からキャンペーンが一斉停止となりました。

しかしながら、旅行需要がこのまま停滞することはありません。

ここで会員の皆さまにお願いしたいのは、変わることなく普段から質の高いサービスを提供し、コロナ禍を契機とした細かなニーズの変化をいち早く察知し、素早くその対応に動いていただきたいと思います。

誰もが普通に安心していつでも望む旅行が可能となる日がやがて必ず来ます。その時に私どもが旅行者から選ばれるよう、知恵を絞り行動を起こしましょう。

本年も日本旅行様と協力の上、宿泊券の販売拡大を目的に、会員の皆さまに納得いただける誘客事業、施策を展開してまいります。

引き続き、皆さまのさらなるご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

四国支部連合会

DCで反転攻勢かける

大木勝也会長

平素は、日旅連四国支部連合会の事業活動に対しまして、日本旅行グループの皆さま並びに会員の皆さまより、多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、今年度は、四国デスティネーションキャンペーン（DC）が2021年秋季（10月～12月）に4年ぶり6回目の開催となります。そして4月～6月は、プレ四国DCが展開されます。

このキャンペーンを機に多くの方に魅力ある四国にお越しいただくために、日旅連四国支部連合会で営業推進委員会が中心となり、4月～9月、10月～3月の年間を通じた四国DC専用パンフレットの作成を予定しております。各県支部では、地域の特色を生かしたタイアップ商品を作成予定しております。宣伝活動については、感染拡大の状況を勘案しながらの実施になろうかと思います。

各委員会の活動については、3月に本部の営業推進委員会が開催されますので本部の営業施策、計画に連動する委員会活動にしたいと思います。

会社への要望は、各種団体旅行の需要喚起。そして会社の強みである国際旅行、インバウンドの復活。インターネット事業の強化。そして、赤い風船商品の販売強化を願っております。

ウィズコロナの時代がまだしばらくは続きます。感染対策の徹底が最大の誘客戦略と考えます。お越しいただいたお客さまに安心してお楽しみいただけるよう、対策を徹底するとともに、販売サイドの皆さまにもその内容を広くアピールすることが重要と考えます。地域が一体となって意見を出し合い、新しい生活様式に沿ったプランの提案も含め、水平展開してまいりたいと考えます。

最後になりますが、新連合会会長として、大変厳しい時代ではありますが、一生懸命、頑張りますので、今後ともご指導、ご鞭撻（んたつ）を賜りますようお願い申し上げます。

沖縄支部連合会

ニューノーマルに対応

白石武博会長

平素は、日旅連沖縄支部連合会の活動に対し、皆さまから多大なるご協力を賜り深く感謝申し上げます。

2020年沖縄観光入域者数は、373万6600人（前年比63・2％減）となり、新型コロナウイルス感染拡大に伴う全国的な旅行の自粛などにより過去最大の落ち込みとなり、沖縄観光にとって非常に厳しい1年でありました。一時はGo Toトラベルキャンペーン効果もあり、復調の兆しもありましたが、キャンペーンの一時停止により再び厳しい状況となりました。本年の見通しは、新型コロナウイルスの国内外の感染状況、Go Toトラベルキャンペーンの実施状況などに大きく影響されることと想定しています。

さて、本年の沖縄でのトピックスは、奄美大島、徳之島とともに、沖縄北部（やんばる）、西表島の世界自然遺産登録予定という明るい話題もございます。

また、日旅連イベントの「REN－CUP」も昨年延期となりましたが、再度沖縄での開催を予定しています。全国の日旅連会員の皆さまのご参加を心よりお待ちしています。

働き方改革やウィズコロナ時代に合わせたスタイルにも力を注いでまいります。観光地やリゾートといった観光素材が豊富な沖縄ではワーケーションも最適であり、受け入れ施設も増え続けています。また、沖縄全域における「沖縄MaaS」の実証実験のサービスも開始され、新しい旅のスタイルも確立されつつあります。

さまざまな取り組みで今まで以上に株式会社日本旅行様と連携も行ってまいります。

当連合会の取り組みとしては、MICE団体については、コロナ禍での新様式対応プランや沖縄ならではの素材を利用したMICE向け新素材の強化に取り組んでいます。

また、教育旅行団体の獲得拡大に向けてSDGsや探求型素材開発にも取り組んでまいります。

個人旅行営業においては、赤い風船商品を中心に成長分野であるインターネット可変型商品のさらなる強化。Go Toトラベルキャンペーン連動による販売成果貢献に努めます。また、来年の赤い風船50周年および沖縄返還50年に向けたキャンペーンへの飛躍の年としても位置付けています。

これからは、ウィズコロナ時代のニューノーマルの観光を見据えた、安全、安心で持続可能な観光の創造が求められます。満足度の高い観光地として受け入れ体制の充実を推進していくとともに株式会社日本旅行様への貢献に会員一同鋭意努めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

九州支部連合会

連携深め、攻めの営業を

東郷和浩会長

日頃より日旅連九州支部連合会の活動につきまして、日本旅行グループの皆さま並びに会員の皆さまには多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

一昨年の秋、海外からのラグビーファンが九州の地にも大勢詰めかけ、地元民と一体となって盛り上がったあの光景が、今となっては遠い昔の出来事だったかのような昨年1年間でした。新型コロナウイルス感染拡大に追い打ちをかけるような7月の豪雨災害により、またもや甚大な被害を被った施設もありました。被災された地域の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

そのような状況の中、コロナにつきましてはワクチンも開発され、近いうちに接種が始まるという明るい見通しが示されており、これは何とか踏ん張って会員の皆さま方と一体となってこの困難を乗り越えたいと思います。

さて、今年度の連合会事業と致しましては、日本旅行中期経営計画「TRANSFORM2025」にリンクさせ、日本旅行各部門、Nic九州、日修会と連携して「会員施設の宿泊顧客拡大」に向けて事業を推進します。具体的には新型コロナウイルス感染拡大や度重なる自然災害の影響が大きく残る中、デジタルトランスフォーメーション（DX）を意識し、営業推進委員会を中心にさらに地域連携を深め「攻めの営業」を目指して取り組んでまいります。

①「赤い風船商品キャンペーン」への協力

個人旅行のシェアがますます拡大傾向にあり、日旅連として個人旅行マーケットからの誘客策は今まで以上に重要となります。日本旅行では現在赤い風船で「着地型商品」の強化を推進中であり、新たな切り口商品の造成支援を含め個人客の誘客拡大を推進しています。

②「おとなび・ジパング倶楽部」への協力

日本旅行の強化部門の一つである「おとなび・ジパング倶楽部」商品に対し情報提供等を含め、新型コロナ感染終息をにらんだ支援を継続してまいります。

③団体旅行拡大への協力

日修会と連携した「教育旅行、法人旅行等各種団体旅行誘致拡大」のため社会環境に合わせた販売促進事業を展開してまいります。

次に、国内外誘客活動につきましては新型コロナ感染状況等を注視しながら以下の通り活動を実施します。

①「九州営業本部社員大会、意見交換会」への参加

②各地区ワークショップへの参加

③「九州観光誘客宣伝to西日本2021」の実施

④九州内日本旅行グループ協働の店頭キャンペーンの実施

⑤台湾キャンペーン「第9回日本の観光・物産博2021」への協力

また、本連合会では会員の皆さま方と日本旅行グループ社員の皆さま方とのより一層の結び付きを深め、信頼関係を築くことを重要視しております。昨年はコロナ禍で新入社員研修をはじめ全ての現地研修が中止となり、九州を知る機会が喪失しました。本年度は環境の好転を期待し、状況の許す限り社員現地研修や企画商品造成のための調査並びに団体旅行獲得後の事前調査（下見）への助成等、Nic、日修会と協働で支援事業として取り組んでまいります。

以上本年度も日本旅行各関係部署の皆さまからのご支援を頂きながら、「九州はひとつ」となって宿泊増売を図ってまいりますので、会員の皆さまの一層のご協力をよろしくお願い致します。

中国支部連合会

会社と歩調を合わせて

吉村譲会長

平素は中国支部連合会の活動に対し会員の皆さま並びに日本旅行グループの皆さまには、多大なるご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、せとうち広島DC等のイベントによる宿泊券販売拡大のチャンスの1年と捉え、誘客拡大策として、中国・四国営業部様からご協力いただき、営業担当者様との商談会実施や西日本営業本部様のお力添えをいただいた、TiS店舗での販促を実施し、受け入れ態勢強化に取り組んでいた矢先、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、出鼻をくじかれた形となり、終始その対応に追われた1年だったと思います。政府のGo Toトラベルの実施により国内需要が一時的に回復したものの、3度の感染拡大、2度目の緊急事態宣言発令を受け、再び、国内需要の消滅を余儀なくされ、会員の皆さまにおかれましても、苦渋の選択をするなど、大変ご苦労された1年だったと思います。

本年も新型コロナ第3波による、11都府県の緊急事態宣言発令で始まりましたが、当連合会としましては、日本旅行様の2021年事業計画の取り組みに歩調を合わせ、かつ、旅連の大命題でもある「宿泊券販売拡大」に寄与する事業を支部連合会営業推進委員会のメンバーを中心に企画、検証し、会員皆さまのご理解ご協力を得ながら共に事業を進めてまいりたいと思います。

その主な取り組み内容として、ニューノーマルに対応した商談会の実施、さまざまな販路に対応した独自の着地素材の開発によるリアル販売の維持およびウェブ販売の強化、昨年多くの社員様にご利用いただきました現地宿泊研修補助事業などを実行しつつ、コロナ感染対策やDXへの対応、地域情報の日本旅行様との共有化にも取り組んでまいりたいと思います。

本年もコロナ禍は継続し、訪日・法人需要が見込めないことが想定されますが、宿泊券販売拡大に努めてまいりますので、引き続き皆さまのご支援ご協力をよろしくお願いします。

淡路島 洲本温泉
淡路インターナショナルホテル
ザ・サンプラザ
〒656-0023 兵庫県洲本市小路谷1279-13
TEL：0799-23-1212 FAX：0799-22-5823
https://www.the-sunplaza.co.jp/ E-Mail：info@the-sunplaza.co.jp

五感を潤す湖畔の宿で一期一会の心に癒される。

琵琶湖を一望する解放感抜群の展望風呂「三上の湯」
ワンランク上の空間「京近江」に用意された、風光明媚な露天風呂付客室
凛とした雰囲気の中、静寂のロビーから望む旅情漂う中庭に心が和む
おごと温泉最大の規模を誇る宿。観光の拠点として利用したい
湖面を渡る風、心に響く情景。ここは上質な大人の時が流れる
地元の旬食材と厳選された味覚の数々、創意工夫を凝らした会席料理の一例
会議室「塩津」
宴会場「京友禅」
びわ湖畔 おごと温泉 琵琶湖グランドホテル
Tel077-579-2111（予約専用）077-579-0111
琵琶湖グランドホテル別館 京近江
Tel077-577-2211（予約専用）077-577-2000
〒520-0101 滋賀県大津市雄琴6-5-1 http://www.biwakogh.co.jp

吉川屋180周年～ココロとカラダにやさしい宿～
「ココロとカラダにやさしい宿～温泉の女神ココカラ宣言～」としてお客様に身も心もリフレッシュして頂ける旅館づくりを目指していきます。
悠久の時間を感じられる自然の景色に身も心も解放して、ごゆっくりお寛ぎくださいませ。

扉温泉 明神館 www.tobira-group.com/myojinkan/
〒390-0222 長野県松本市入山辺8967 TEL 0263-31-2301
松本丸の内ホテル www.matsumoto-marunouchi.com
〒390-0874 長野県松本市大手3-5-15 TEL 0263-35-4500

Satoyama villa DEN http://tobira-group.com/satoyamaviladen/
〒390-0823 長野県松本市中山5471 TEL 0263-88-3266（扉ホールディングス株式会社）
Satoyama villa 本陣 http://shigahonjin.jp
〒399-7412 長野県松本市保福寺町246 TEL 0263-88-3266（扉ホールディングス株式会社）